

第7回 東京工業大学先端無機材料共同研究拠点運営委員会議事要録

日 時 平成25年9月9日(月) 10時00分～11時30分

場 所 東京工業大学すずかけ台キャンパス 大学会館2階 集会室1

出席者 澤岡 昭, 内川 恵二, 佐藤 誠, 坂井 悦郎, 新家 光雄,
片山 聖二, 高田 雅介, 岡本 達雄, 勝俣 英雄 の各委員

所内説明者 伊藤 満 (応用セラミックス研究所長)
笠井 和彦 (共同利用・研究支援室長, 建築物理研究センター長)
川路 均 (安全管理支援室長)
細野 秀雄 (セキュアマテリアル研究センター長)
若井 史博 (特別教育研究費プロジェクト拠点リーダー)

配付資料

- 別紙1. 東京工業大学先端無機材料共同研究拠点運営委員会規程
- 別紙2. 東京工業大学先端無機材料共同研究拠点運営委員会委員名簿
- 別紙3. 第6回東京工業大学先端無機材料共同研究拠点運営委員会議事要録(案)
 - 1-1. 平成25年度応用セラミックス研究所教員人事について
(平成25年4月1日～平成25年9月1日)
 - 1-2. 応用セラミックス研究所教員組織
 - 2-1. 平成24年度決算額
 - 2-2. 応用セラミックス研究所 経費(決算額)の推移
 - 2-3. 平成25年度予算配分表(運営費交付金)
 - 2-4. 外部資金受入状況について
 - 2-5. 外部資金受入状況について(平成21年度から平成25年度までの推移)
 - 2-6. 平成24年度科学研究費補助金一覧
 - 2-7. 本研究所における研究論文などの研究業績データ
 - 3-1. 平成26年度概算要求事項の概要(特異構造金属・無機融合高機能材料開発共同研究プロジェクト)
 - 3-2. 平成26年度概算要求事項の概要(先端無機材料共同研究拠点の形成)
 - 4. 共同利用研究(H16年度～H25年度)実績データ
 - 5. セキュアマテリアル研究センター活動報告(平成25年3月～25年8月)
 - 6. 建築物理研究センター活動報告(平成25年4月～25年9月)
 - 7. 応用セラミックス研究所共同プロジェクト連携研究体活動報告
 - 8-1. 全国共同利用研究 応用セラミックス研究所長賞 受賞者
 - 8-2. 2013年度応用セラミックス研究所長賞 受賞記念講演会・新任客員教員講演会
 - 9-1. 国際会議・シンポジウム開催状況, ワークショップ・報告会開催状況
 - 9-2. 応用セラミックス研究所講演会開催状況
 - 9-3. セキュアマテリアル研究センター・建築物理研究センター講演会開催状況
 - 9-4. 平成25年度学術講演講師
 - 9-5. 平成25年度非常勤講師
 - 10-1. 応用セラミックス研究所受賞者一覧
 - 10-2. 2013年パブリシティ
 - 10-3. 研究成果が新聞・テレビなどへ取り上げられた件数の推移

席上配布資料

- 応用セラミックス研究所パンフレット 2013
- 応用セラミックス研究所活動報告（要覧）2012
- News Letter No.30
- SERC News 2013 No.17
- 共同利用研究報告書 平成 24 年度
- 平成 24 年度連携プロジェクト 研究成果報告書
- 6 大学連携プロジェクトニュース 2013.03 VOL.02 No.2
- STAC-7 報告書

定足数の確認

運営委員総数 13 名，公務欠席 4 名，定足基準数 9 名，定足数 5 名，出席者 9 名で成立

議事要録の確認

澤岡議長から，前回議事要録（案）について説明があり，これを承認した。

議 題

1. 教員人事について

伊藤所長から，資料 1-1～2 に基づき，平成 25 年 4 月 1 日～9 月 1 日までの応用セラミックス研究所の教員人事，教員組織等について説明があった。

2. 平成 24 年度決算および平成 25 年度研究経費について

伊藤所長から，資料 2-1～7 に基づき，平成 24 年度の決算額，平成 25 年度の予算配分，外部資金の受入状況，本研究所における研究論文などの研究業績データ等について説明があった後，質疑応答が行われた。

3. 平成 26 年度概算要求について

伊藤所長から，資料 3-1 に基づき，平成 26 年度概算要求「特異構造金属・無機融合高機能材料開発共同研究プロジェクト」の事業概要，これまでの取組実績について説明があり，先日，文部科学省より要求額の内示があった旨，説明があった。引き続き，資料 3-2 に基づき，平成 26 年度概算要求「先端無機材料共同研究拠点の形成」の概要説明があり，7 月末に文部科学省において中間評価に係るヒアリングが行われ，総合評価として「A 評価」を受け，これに基づき，要求額の内示があった旨，説明・報告があった後，質疑・応答が行われた。

4. 平成 24 年度共同利用研究実施状況について

笠井共同利用・研究支援室長から，資料 4 に基づき，研究経費，研究者数，採択数の推移について説明があり，現在の活動状況として，研究費を使いやすくするための改善を行っており，共同利用研究をさらに魅力的にするための計画を立て，実行していること，さらに，今年度より，成果報告にあたっては，報告書だけでなく，パワーポイントにまとめたものを併せて提出してもらい，これを応用セラミックス研究所の PR として活用することにした等の説明があった後，採択数に対する総研究者数の割合等について質疑・応答が行われた。

5. セキュアマテリアル研究センター活動状況について

細野センター長から，資料 5 に基づき，同センターの活動状況として，最近のハイライトの説明および外部資金の獲得状況等について説明があった後，時限終了後の教員ポストについての対応等について質疑・応答が行われた。

6. 建築物理研究センター活動状況について

笠井センター長から，資料 6 に基づき，同センターの人員について説明があり，現在欠員となっているポストについて公募を行い，選考中である旨，説明・報告があった。

7. 全国共同利用附置研究所連携事業「特異構造金属・無機融合高機能材料開発共同研究プロジェクト」の活動状況について

若井プロジェクトリーダーより、資料7に基づき、組織、各分野・研究テーマおよび各テーマ毎の進捗状況等について説明の後、研究成果等について質疑・応答が行われた。

8. その他

(1) 所長賞等の状況について

伊藤所長から、資料8-1, 2に基づき、今年度の受賞者および受賞記念講演会等の説明があり、受賞者の選考にあたっては、来年度から、できるだけ外部の方に授与する方向に変化させていきたいとの説明があった後、質疑・応答が行われた。

(2) 平成25年度講演会・シンポジウムの開催状況等について

伊藤所長から、資料9-1~5に基づき、平成25年度の国際会議・シンポジウム・ワークショップ・報告会の開催状況、応用セラミックス研究所・セキュアマテリアル研究センター・建築物理研究センターの講演会開催状況、学術講演講師・非常勤講師の一覧等について説明・報告があった。

(3) 研究成果等の社会広報について

伊藤所長から、資料10-1~3に基づき、平成25年度の教職員および学生の受賞者一覧、研究成果が新聞・テレビなどへ取り上げられた件数の推移等、パブリシティ関係の実施について説明・報告があった後、新聞・雑誌等へのPR等、広報活動の取組について質疑があり、伊藤所長から、これまで以上に戦略的に広報活動を行って行きたいとの発言があった。

(4) 次回開催予定について

澤岡議長から、次回の開催予定については、平成26年3月を予定しており、後日、事務から日程調整の連絡をさせていただく旨、説明があった。

(5) その他

澤岡議長から、研究所の改組についての進捗状況について質問があり、伊藤所長および笠井建築物理研究センター長から、大学全体で改組を進めているため、一部局だけが先行して改組を行う事ができず、大学としては、教育システムの改革が先の課題となっている旨、説明があり、補足として、陪席の真島教授から、学長補佐室での検討状況等について説明・報告があった。また、応用セラミックス研究所における建築物理研究センターの位置づけ等について質疑・応答が行われた。

以上